

RECREATIONかごしま

スポーツくじ



この情報誌はスポーツ振興くじ助成を受けて作成しています。

発行：鹿児島県レクリエーション協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目4番20号 鹿児島県総合体育センター武道館内

(電話) 099-255-0225 (FAX) 099-296-1192 (携帯) 070-7486-1109

(HP) <http://www.kaken-rec.jp/> (メール) info@kaken-rec.jp

令和5年度鹿児島県レクリエーション協会活動方針

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が2類から5類に引き下げられた中でのスタートとなります。しかしながら、すべてがコロナ発生前と同様の社会に戻るとは言えない状況は続くと思われまます。

名実ともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代での共生レクリエーション社会といえます。

コロナと共に生きる時代となり、デジタル化が進む中でもフィジカルディスタンス(肉体的距離)を広く取り、メンタルヘルスディスタンス(心的距離)を密に進めるレクリエーション的コミュニケーションが重要な時代になったといえます。

私たちはこれまで、「集団」を意識したレクリエーション活動が主流であった面を強く感じます。しかし、今回のコロナショックで痛感させられたように「集団」へのアプローチには限界が生じました。本来人間が生きていく中で「生きる喜び」とは何だったのか再認識する時代が到来していると言えます。日々の生活の中で感じる「楽しさ」「嬉しさ」「生きがい」などを、それぞれの人々「個」へも届ける、アドバイス(する)、寄り添うことがレクリエーション活動の目標の一つと言えます。

様々なレクリエーション活動(材)を活用し、県内各地で身近な人々にレクリエーションの楽しさを伝える「伝道者」的使命感が到来しているのかもしれませんが。

これからも、レクリエーション支援(指導)者はもとより各種目団体の指導者の皆様と共に「生きる喜び」を伝えていくための活動を目指します。

そのため以下の活動を提案いたします。

- 1 地域レクリエーション協会訪問事業
- 2 種目団体との交流促進事業
- 3 有資格者の講師状況の把握、講師バンクの充実及び若手の積極的活用
- 4 創立50周年記念大会に備える
- 5 協会の財政健全化に取り組む
- 6 ホームページのリニューアル及びSNSの活用



令和4年度の活動の様子

昨年度もコロナの影響を受けた事業運営でしたが、実施できた事業は充実した内容になりました。



レク・インストラクター養成講座



高齢者の元気づくり支援者養成講座



第38回県民レクリエーション祭

令和5年度県レクリエーション協会主要事業計画

鹿児島県レクリエーション協会

月	日・曜	事業名	主催,共催,後援別	参加対象	場所等
4	22日(土)~ 23日(日)	KYT天テレ博2023	KYT鹿児島読売テレビ	県民	中央公園 中町ベルク広場
	29日(土・祝)	春「ふれあいプラザ」	後援:県総合体育 センター主催	幼児・児童生徒と その家族	県総合体育センター 運動施設
5	20日(土)	理事会	主催	理事	鹿児島県青少年会館
	27日(土)	評議員会	主催	役員・評議員	鹿児島市鴨池公民館
	28日(日)	レクリエーション・インストラクター 養成講座開講(toto助成事業)	主催	県民	鹿児島県青年会館
7	16日(日)	高齢者の元気づくり支援者 養成講座(toto助成事業)	主催	福祉施設職員等	鹿児島県青少年会館
9	15日(土)~ 17日(月・祝)	第77回全国レクリエーション大会 2023inとくしま	日本レクリエーション協 会・徳島県レクリエーシ ョン協会主催	レクリエーシ ョン運動関係者 及び一般市民	徳島県
	9月中旬~ 11月中旬	全国一斉「あそびの日」キャンペ ーン	共催:日レク協会主催	県民	
11	23日(木・祝)	2023健康ウォーク	後援:南日本新聞社等主催	県民	未定
2	18日(日)	高齢者の元気づくり支援者 養成講座(toto助成事業)	主催	福祉施設職員等	鹿児島県青少年会館
	(未定)	フォローアップ研修会	主催	有資格者	
	(随時)	地域協会育成事業		市町村	県内
	(随時)	レクリエーション指導者派遣事業		各種団体等	県内全域
	(随時)	指導者検定・選考委員会		公認申請者	

◎レクリエーション・インストラクター養成講座

5月28日(日), 6月18日(日), 7月23日(日), 8月27日(日), 9月17日(日)
10月15日(日), 11月12日(日), 12月3日(日), 1月21日(日), 2月4日(日)
※8月27日(日), 11月12日(日)は公開講座です

◎広報誌発行 6月,10月,2月

教員向けレクリエーション研修会開催支援事業について

現在この事業について、日本レクリエーション協会に開催の申請を上げていま
す。令和3年度まで実施していた「教員免許状更新講習」の内容を踏襲しつつ、「学
級開きに生かすアイスブレイキング」「after コロナの人間関係づくり」「遊びが運動
になるレクリエーション支援」等、先生方の学級経営や子供たち
どうしの人間関係づくりに役立つ内容になればと思います。

事業が決定いたしましたら(あくまでも決定したらですが…),
県レクリエーション協会のホームページやフェイスブック等で
紹介しますので、ご覧ください。



令和5年度レクリエーション・インストラクター養成講座スタート

日本スポーツ振興センターの助成(toto)を受け「令和5年度レクリエーション・インストラクター養成講座」が、5月28日(日)から、25名の受講生でスタートしました。

「With コロナ時代の『心の元気づくり』を!」を合言葉に、子どもから高齢者まで、誰もが手軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供するための指導技術を習得したり、レクリエーション事業の企画・運営ができる指導者を養成したりすることを目的としています(実施に当たっては、コロナ感染症対策を行って実施します)。

この講座は毎年実施していますが、昨年度、コロナ禍でありながら全課程を終了した方々からは、次のような感想が寄せられました(一部抜粋)。

- (参加動機) ⇒ 高齢化社会を迎えるにあたって、より楽しい老後を過ごしていくためにもレクリエーションというのは非常に大切な分野であると考え参加しました。
- (参加しての感想) ⇒ ・ 対象者へのホスピタリティや目的に合わせたレク支援の仕方など実技、理論、演習を通して基本的な技術を学ぶことができた。
- ・ 講座の内容は毎回充実していて、分かりやすく丁寧な指導をしてくださいました。資料も準備してもらったので講座終了後も読み返すことができました。

令和5年度レクリエーション・インストラクター養成講座プログラム(前期分)

※ 後期分は、広報誌第2号で紹介します。

	9:20~10:50	11:00~12:30	13:30~15:00	15:10~16:40
令和5年	開講式・オリエンテーション	理論科目1	実技科目4 I-1	実技科目4 I-2
	実技科目5 II-3	レクリエーション概論	レクリエーション支援の方法	レクリエーション支援の方法
5月28日	アイスブレイキング	レクリエーションとレク・インストラクターとは	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ 1	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ 2
(日曜日)	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室
6月18日	理論科目2 I	理論科目3-I	理論科目3-II	実技科目4 II-1
	楽しさを通した心の元気づくりと対象者の心の元気	コミュニケーションと信頼関係づくりの理論	良好な集団づくりの理論	良好な集団づくりの方法 1
	アイスブレイキング	アイスブレイキング	アイスブレイキング 1	
(日曜日)	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室
7月23日	理論科目2 II	演習・実習科目6 I	理論科目3-III	実技科目4 II-2
	心の元気と地域のきずな	リスクマネジメントの方法	自主的、主体的に楽しむ力を高める理論	良好な集団づくりの方法 2
	安全管理	安全管理	レクリエーション活動の展開方法	アイスブレイキング 2
(日曜日)	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室
公開講座	10:00	実技科目5 I-2	実技科目5 II-1	実技科目5 II-2
	モデル・プログラムの習得2(子ども分野)	レクリエーション活動の習得 1	レクリエーション活動の習得 2	15:30
		子どものためのゲーム	子どものためのソング	
(日曜日)	県青少年会館 大ホール	県青少年会館 大ホール	県青少年会館 大ホール	
第5回	実技科目4 III-1	実技科目4 III-2	実技科目4 III-3	実技科目4 III-4
	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法
9月17日	レクリエーション活動の展開方法1・ハードル設定	レクリエーション活動の展開方法2・アレンジ方法	レクリエーション活動の展開方法3・CSSプロセス	レクリエーション活動の展開方法4・総合的演習
(日曜日)	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室	県青年会館 研修室

レクの資格を取った方へのスキルアップのために

レクリエーションの資格は取ったけど、そのあとのスキルアップの方法が分からない。取った資格をもう一度生かして学びなおしをしたい。そんな方のいくつかの方法をお伝えします。せっかく取得したレクリエーションの資格！ぜひ生かしていただきたいですね。

1 レクリエーション・インストラクター養成講座をもう一度受講する

フォローアップを兼ねて、有資格者の方もレクリエーション・インストラクター養成講座を再受講することができます。自分のスキルアップの為に受講したい方も是非どうぞ！料金は、有資格者は1日1000円です。受講の申し込みは、事前に県レクリエーション協会事務局までご連絡ください。

(例えば)

レクをする上での安全管理のポイントは何かあったかな？

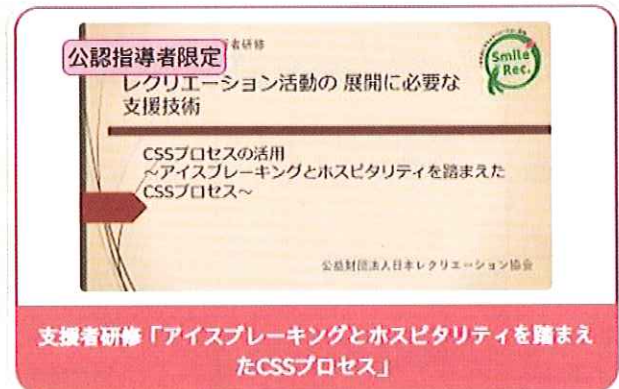
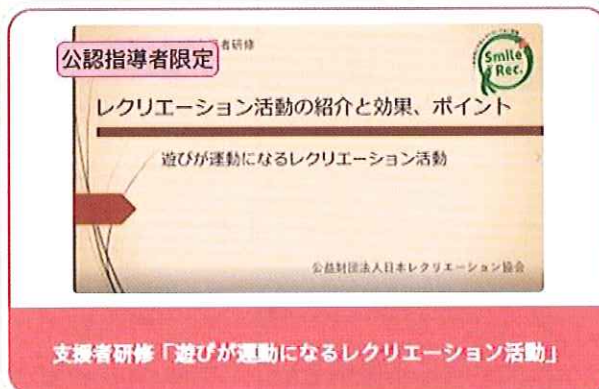
もう一度アイスブレイクになりそうなゲームを学んで、早速活用してみたいな

	理論科目2 Ⅱ	演習・実習科目6 Ⅰ	理論科目3-Ⅲ	理論科目4 Ⅱ-2
第3回	楽しさと心の元気づくりの理論	レクリエーション支援演習	レクリエーション支援の理論	レクリエーション支援の方法
7月23日 (日曜日)	心の元気と地域のきずな 県青年会館 研修室	リスクマネジメントの方法 安全管理 県青年会館 研修室	自主的、主体的に楽しむ力を高める理論 レクリエーション活動の展開方法 県青年会館 研修室	良好な集団づくりの方法 2 アイスブレイキング 2 県青年会館 研修室

2 日本レクリエーション協会の「レクぽ」に登録してみる

日本レクリエーション協会の「レクぽ」に公認指導者としてログインすると、様々な動画教材を視聴できます。支援者としてのスキルアップに役立つ教材がたくさんあります。

掲載動画：「アイスブレイキング・モデルと活用したい支援技術」、「高齢者施設でのレクリエーション支援」、「幼児の運動遊び」ほか



※「レクぽ」ホームページより抜粋

「レクぽ」は、多様なレク活動を紹介しているレクリエーションポータルサイトです。公認指導者限定の学習教材やレクコンテンツが利用できます。「レクぽ」のログインについては、広報誌P7に掲載している二次元バーコードからアクセスすることができます。

日本レクリエーション協会では、情報誌『Recrew』を発行しています。毎号テーマを設定して、介護や保育といったレクリエーション活動に必要な内容を盛り込んだ特集をはじめ、地域で活躍している公認指導者の活動事例、レクリエーション用具の取り扱い方や展開法、レクリエーション・ゲームの進め方やアレンジの方法などをオールカラーで紹介しています。また、スキルアップや活動の場の拡大を目指す方々のために、イベントや講習会のご案内なども掲載しています。

Afterコロナでも生かせる「三密を避けた」遊びの紹介

※「レクぼ」ホームページより抜粋

①先生の〇×クイズ<三密避けVer>



教師のことを知ってもらい、親しみを感じてもらうためのクイズです。

子どもたちが教師を身近に感じられる内容や伝えたい内容などをクイズ形式で出題します。間隔をあけて、「マル」「バツ」の動作と発声も楽しみたいゲームです。

進め方

- ① 先生のことについてクイズを出すことを伝え、第1問を出題する。
- ② 答えるタイミングと方法を確認する。～教師の「セーノ」の合図で一斉に答えることと、〇だと思ったら、「マル」と言いながら頭の上で大きな〇をつくり、×だと思ったら、「バツ」と言いながら×をつくる、ということを確認する～
- ③ 答えを「セーノ」で促し、正解を発表する。

三密を避けて楽しむために

同時発声を行うため、十分な間隔を取る必要がありますが、距離はあっても楽しめるゲームです。子どもたちが動作と発声で自己表現できる雰囲気づくりと、クイズの題材を工夫することで、子どもたちをひきつけながら楽しく効果を高めることができます。

②まねっこ拍手(リズム打ち)<三密避けVer>



教師の手拍子を聞いたあと、みんなで同じリズムを真似て拍手し、一体感を楽めます。声を出さなくても成立するので三密が避けやすく、拍手のリズムがピッタリ合った時の爽快感が心地よいゲームです。

進め方

- ① 教師の手拍子に続いて、子どもたちは同じリズムを真似して拍手します。
- ② 徐々に複雑なリズムに変化させ、一体感を楽めます。

三密を避けて楽しむために

このゲームはもともと三密を避けて楽しめるものです。離れていても手拍子で一体感を楽しむことができます。複雑なリズムに挑戦し、それがうまくいった時、大きな達成感が共有できるでしょう。教師に注目させるためにも、見本を見せるためにも最初は教師がリズムを取りますが、子どもが交替でリズムを取る役をすることで、一人ひとりが主人公になれる、自己効力感を高めることにもつながります。

高齢者の元気づくり支援者養成講座開催

令和5年度 高齢者の元気づくり支援者養成講座

この講座はスポーツ振興くじ助成金を受けて開催します。



With コロナの時代の
“楽しいレクリエーション”



【期日】令和5年7月16日(日)

10時～15時30分

【会場】鹿児島県青少年会館ホール

住所 鹿児島市鴨池新町1-8

電話 099-257-8226

*駐車場・台数に限りあり

【受講料】2,500円

(レク有資格者2,000円)

(保険・資料代込・当日徴収)

運動できる服装(上靴不要),筆記具持参

【定員】40名

【主催】鹿児島県レクリエーション協会

【内容・講師】

◇ 9:30～10:00 受付

◇ 10:00～15:30(12:00～13:00 昼食)

①まずは笑顔であること

②フレイル予防法

③音楽レクリエーション うた体操

④コミュニケーションスキルアップ



高齢者福祉の現場で活用出来る素材やその伝え方、アレンジの方法等を楽しく学びましょう!

講師 田中 和 恵 先生(熊本市在住)

NPO 法人熊本わくわく体操ボランティア協会理事長

講師のご紹介

介護福祉士養成の専門学校講師として35年、また現在九州中央リハビリテーション学院エンターテイメント講師。特に福祉施設でのレクボランティア活動に現在も精力的に邁進中の他ダンス体操教室20箇所等多彩に活躍中。レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションワーカー、日本フォークダンス連盟1級公認指導者、熊本支部事務局長

【申込み・問い合わせ先】

下記に記入しFAX等で7月5日(水)迄に申し込む
鹿児島県レクリエーション協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎1-4-20 県総合体育センター武道館内

電話 099-255-0225 FAX 099-296-1192

メール info@kaken-rec.jp 携帯 070-7486-1109

※弁当(500円:税込)の注文を受付けます(希望者・当日徴収)



【令和5年度高齢者の元気づくり支援者養成講座申込書】

(FAX 099-296-1192)

※傷害保険加入のため必ず年齢をご記入ください。

氏名	住所	電話番号	年齢	レク資格	弁当
	〒			有	要
				無	不要

※受講決定の通知は原則として行いませんので、ご了承ください。

※この個人情報は当事業のみに使用します。

※万一、申込み後にご都合が悪くなった場合は必ずご連絡下さい。無断欠席の場合は後日受講料を請求させて頂く場合があります。

国体デモンストレーション競技を開催しています

本年4月から「かごしま国体デモンストレーション競技」が開催されています。県レクリエーション協会に加盟している種目団体も、「ペタンク」「エアロビック」「スポーツチャンバラ」「3B体操」「ディスクゴルフ」「お手玉」「スポーツウエルネス吹矢」「フライングディスク」「ジャズ体操」「真向法」がすでに実施を終えたところです。

6月中旬以降に開催が予定されている加盟種目団体の競技は、下記のとおりです。詳細は、かごしま国体ホームページか各問合せ先に連絡してください。

番号	競技名	競技会場(会場地)	実施日	申込期間	問合せ先
1	バウンドテニス	薩摩川内市総合運動公園総合体育館(サンアリーナせんだい)	6月18日(日)	終了しています	鹿児島県バウンドテニス協会事務局 Tel 090-6290-7100
2	ソフトバレーボール	西之表市民体育館	6月25日(日)	終了しています	西之表市教育委員会社会教育課 Tel 0997-22-1111 (内線 259)
3	ドッジボール	大崎町総合体育館	7月2日(日)	終了しています	鹿児島県ドッジボール協会事務局 Tel 099-255-0146
4	パークゴルフ	霧島市まきのほら運動公園内福山パークゴルフ場	7月30日(日)	終了しています	鹿児島県パークゴルフ協会 Tel 0995-56-2537
5	ターゲット・バードゴルフ	マルマエスタジアム出水	9月10日(日)	7月1日(土)～ 7月31日(月)	出水市ターゲット・バードゴルフ協会 Tel 0996-67-3382

事務局だより

○ 第39回県民レクリエーション祭は休止

令和5年度は「燃ゆる感動かごしま国体」「燃ゆる感動かごしま大会」開催年となっているため、県民レクリエーション祭は休止となります。なお、令和6年度は、第40回大会として、肝付地区で開催予定です。今後、会場や実施種目等の検討を行う予定です。

○ 資格更新をお忘れなく

日本レクリエーション協会の資格をお持ちの方で、2023年6月30日更新対象者の皆様は、資格の更新手続きをご検討ください。

(編集後記)

今年度も広報誌の第1号を発行することができました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、コロナ以前の日常生活が戻ってきつつあります。と同時に、今後、各地でレクリエーション活動もより活発になるのではないかと思います。県内のレク活動について、県レク協会事務局にも教えていただけたら広報誌にも積極的に掲載したいと思いますので御協力をよろしくお願いいたします。また、広報誌への御意見や御感想、「こんな記事を掲載してほしい」等のアイデアもお待ちしております。

今年度もよろしくお願いいたします。



鹿児島県レク協会



日本レク協会



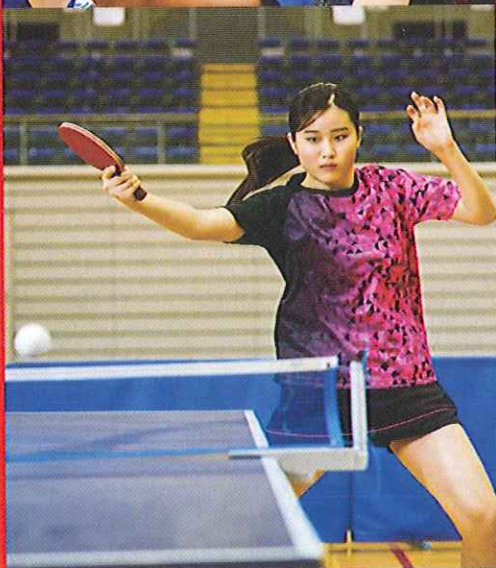
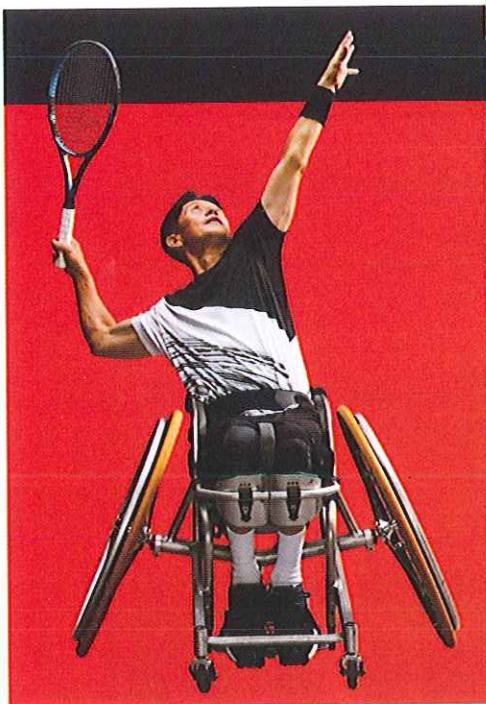
レクぼ

企業加盟団体 (株)山形屋・(株)鹿児島銀行・(株)南日本銀行・(株)南日本放送・(株)ビルメン鹿児島

【※スポーツ・レクリエーション活動の支援をとおして、県民の皆様の健康づくりを応援して頂いています】

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ

